

# 企業を守る「脆弱性管理」

機器やソフトウェアの脆弱性を放置すると、「データを盗まれる」、「業務システムの停止」「サイバー攻撃の踏み台になる」などのリスクがあります！

## ▶ 使用している機器、ソフトウェアの把握

普段利用するサービス、機器やソフトウェア、契約しているレンタルサーバ等を把握して、脆弱性情報がないか、運用に不備がないか、適切に管理をしましょう。

## ▶ 脆弱性情報を定期的に確認（通知設定が有効）

脆弱性情報は日々更新されています。IPAやJPCERT/CCが運営する脆弱性対策ポータルサイトや使用機器の公式サイトなどを確認し、脆弱性情報を定期的に確認しましょう。  
(サイト情報更新通知設定を積極的に活用しましょう。)

## ▶ 機器のアップデートは確実に

機器のアップデートは、利便性の向上だけでなくセキュリティの修正が含まれていることがあります。

常に最新バージョンを利用しましょう。

